

令和7年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

令和7年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			R5	R6	R7		
奈良県	東吉野村	東吉野村	●	●	■	B	目標については、概ね計画通り達成することができた。売上額の項目で目標未達となったが、ECサイトでの販売を開始したこと、現場に新たにスタッフが入ったことから改善できる見込みである。今後も連携しながら認知向上や販路拡大に向け取り組む。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○●交付対象年度(計画) ●●交付対象年度(実施済) □●目標年度(計画) ■●目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A●優良 B●良好 C●低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(2)の規定に基づき、第三者である長岡 孝寿から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

長岡 孝寿

【意見聴取の概要】

- ・本交付金を十分に活用した、ゆず等の加工品開発・既存商品の改良、販売促進、ゆずの安定供給に対する取り組みは、関係機関としっかり連携がとれており、総合的には概ね良好と評価。販売促進の取り組みについては今後も要検討。
- ・展示商談会への出展や販売会参加で得られた知見は、新商品開発と既存商品のブラッシュアップにしっかりとフィードバックできている点を評価。
- ・ゆず加工品を使ったレシピコンテストの開催による、新たな需要喚起の取り組みを評価。
- ・ゆず果実の安定供給のために栽培研修会を充実させるなど、生産者の栽培技術向上に係る取り組みは評価。
- ・「有限会社小さな道の駅ひよしのさと」は地域活性化の核となる施設であり、スタッフの若返りをきっかけに、商品力向上と販路開拓を期待。